

# 東京都における 新型コロナウイルスに感染した 透析患者の診療体制確保について



## 高齢者等医療支援型施設（赤羽）

- **人工透析**、中期滞在を可能とする高齢者等医療支援型施設
- 高齢者施設等の入所者で新型コロナウイルスに感染した方、**入院加療後、症状は安定しているが退院基準を満たしていない高齢者**（下り）を中心に受入れ
- ベッド数：最大137床（うち**人工透析用10床**）
- 令和4年1月20日受入開始
- 透析実施日：火・木・土・日曜日



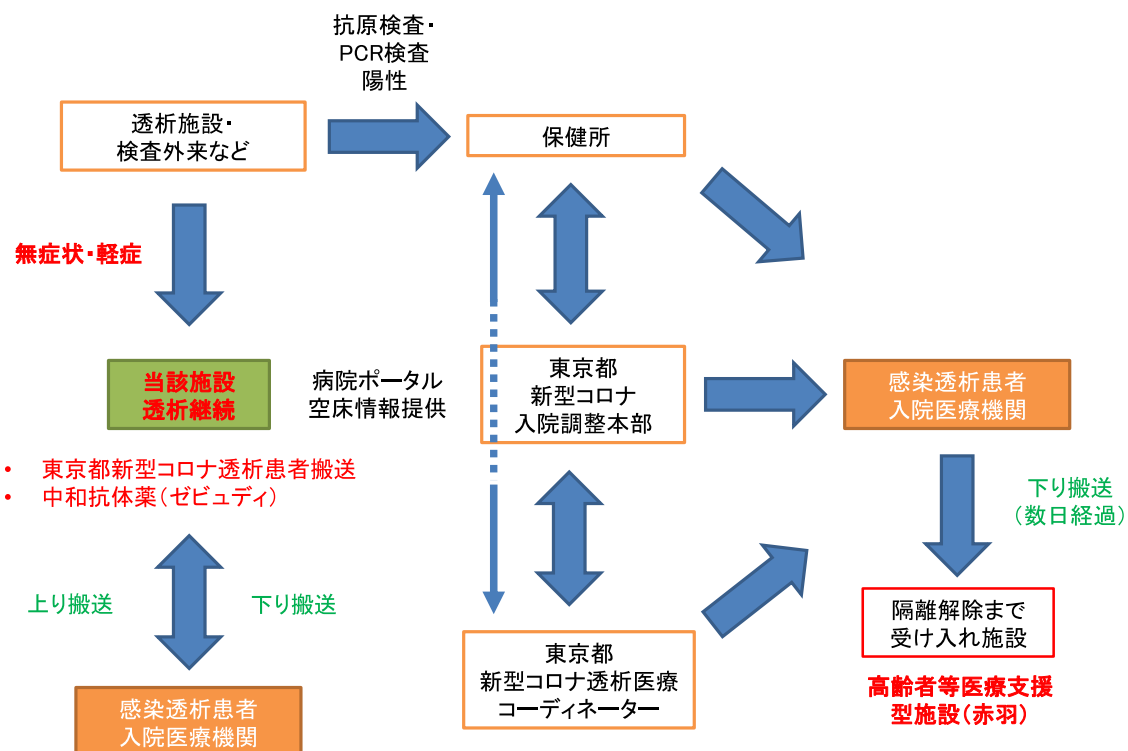
# コロナ陽性透析患者の初療判断目安

重症度 (診療の手引き)	酸素飽和度	自立度	中和抗体薬 の適用	療養先	申込み先
無症状*1	≥96%	自立	×	<b>自宅(外来透析)</b>	(搬送)維持透析医療機関 ⇒都庁搬送窓口or保健所
		要介助		入院	保健所⇒入院調整本部
軽症*1		自立*2	○	<b>自宅(外来透析)</b>	(搬送)維持透析医療機関 ⇒都庁搬送窓口or保健所
		高齡者等医療支援 型施設(赤羽)	保健所⇒高齡者等医療支援 型施設(赤羽)		
要介助		○	入院	保健所⇒入院調整本部	
中等症Ⅰ		93<SpO2<96%	不問	○	入院
中等症Ⅱ	≤93%	不問	×	入院	保健所⇒入院調整本部
重症		不問	×	入院	保健所⇒入院調整本部

\*1 透析以外にコントロール不良な重症化リスクがある場合は入院調整も検討

\*2 外来透析が困難な場合は高齡者等医療支援型施設(赤羽)での療養

## 東京都におけるコロナ陽性透析患者への医療提供体制



日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会 新型コロナウイルス感染症対策合同委員会委員長 菊地勤先生ご提供

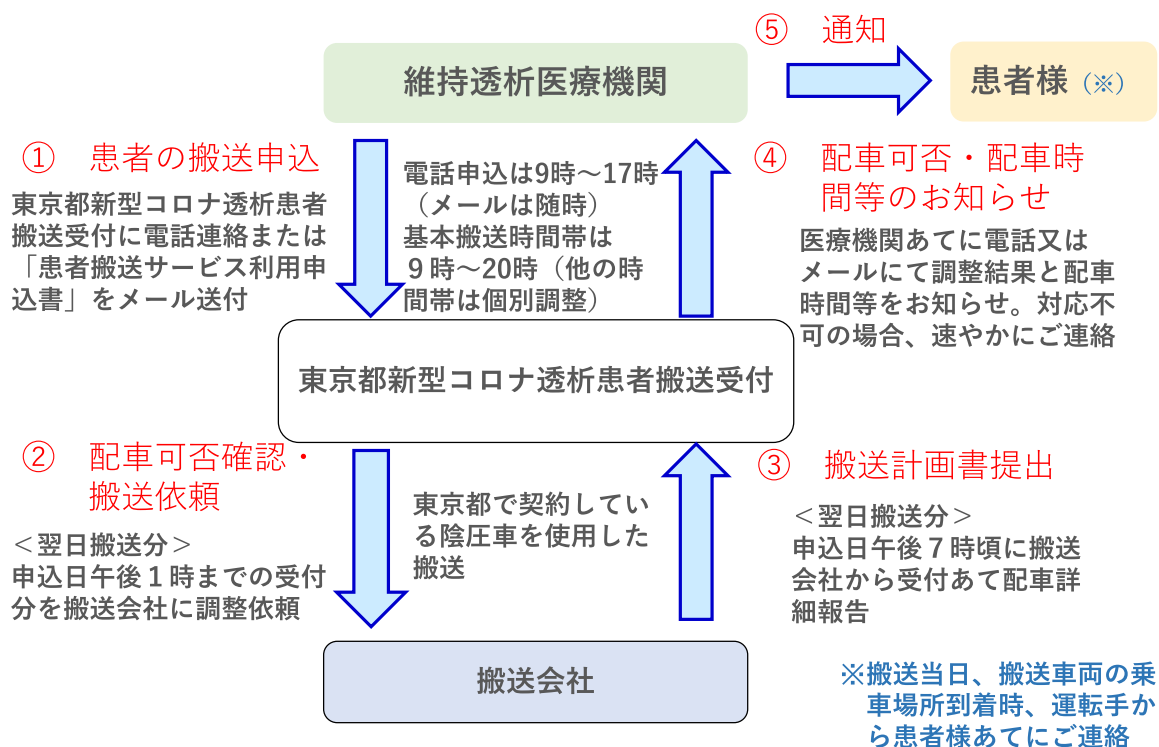
# かかりつけ維持透析医療機関において 外来透析を実施するにあたって

1. コロナ陽性透析患者の搬送手段の確保
2. 重症化予防のための治療薬投与体制の確保

## 1. 搬送

- 令和3年2月5日（土）より、東京都新型コロナ透析搬送受付を開設
- 陰圧タクシーにて、患者さんのご自宅と医療機関間を送迎
- コロナ陽性透析患者の外来透析を実施する医療機関からの申込みを受付
- 基本搬送時間は、9時～20時（土日祝日も運営）
- 対応時間外の搬送、当日中の調整依頼、乗降に介助が必要な患者さんの搬送は、患者所在地保健所に相談

## 維持透析医療機関への患者搬送の流れ



## 2. 重症化予防

① 自院でモルヌピラビル投与できる体制の確保

② 酸素・医療提供ステーションにおけるソトロビマブ投与

- 維持透析医療機関にて、ソトロビマブの投与体制がまだ整っていない場合における、ソトロビマブ投与体制の構築
- 申込み翌日の投与を調整
- 投与当日は酸素・医療提供ステーションに1泊滞在して経過観察し、翌日退所
- 入所・退所の搬送は、酸素・医療提供ステーションが調整
- 維持透析医療機関より、希望の酸素・医療提供ステーションに申込み

## 東京都における新型コロナウイルスに感染した透析患者 (コロナ陽性透析患者)への医療体制

- 2022年2月4日(金) : 都内透析医療機関(病院、診療所)管理者宛て  
新型コロナウイルスに感染した透析患者の診療体制の確保について(協力依頼)

➤ 「初療判断の目安」を参考に、重症度に応じた透析医療を実施すること

➤ 搬送・中和抗体薬投与サービスの活用について



オミクロン株による第6波以降、この体制を基本としている

- 2022年2月7日(月)  
2月4日付通知の説明会

	内容	講師
1	都内COVID-19の現況と対策	東京都透析医会幹事 菊地勸先生
2	外来透析の搬送、中和抗体薬療養について	東京都福祉保健局
3	酸素・医療提供ステーションにおける透析患者への対応	日本大学腎臓・高血圧・内分泌内科教授 阿部雅紀先生
4	外来透析医療機関における感染対策について	東京医科大学病院感染制御部准教授 中村造先生
5	入院医療機関における透析コロナ患者対応	東京都保健医療公社大久保病院副院長 若井幸子先生
6	感染拡大期における透析医療体制・総括	東京医科大学病院副院長 菅野義彦先生

## 東京都における新型コロナウイルスに感染した透析患者 (コロナ陽性透析患者)への医療体制

- 2022年8月18日付け: 都内各保健所長宛て  
新型コロナウイルスに感染した透析患者の受入れ強化に向けた  
診療体制確保における地域連携の推進について(協力依頼)

➤ 「災害時における透析医療活動マニュアル」におけるブロックごとに、地域の医療連携を推進すること

➤ 中等症以上の患者を受け入れた病院において、受け入れた患者が軽症となった場合には、軽症の患者を受け入れる病院や高齢者等医療支援型施設(赤羽)への転院をご検討いただくこと

➤ 軽症者における外来維持透析の実施を推進すること



一部ブロックにおいて、地域ブロックごとの連携による入院調整を実施

# 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う医療提供体制及び公費支援の見直し等について（ポイント）

参考資料

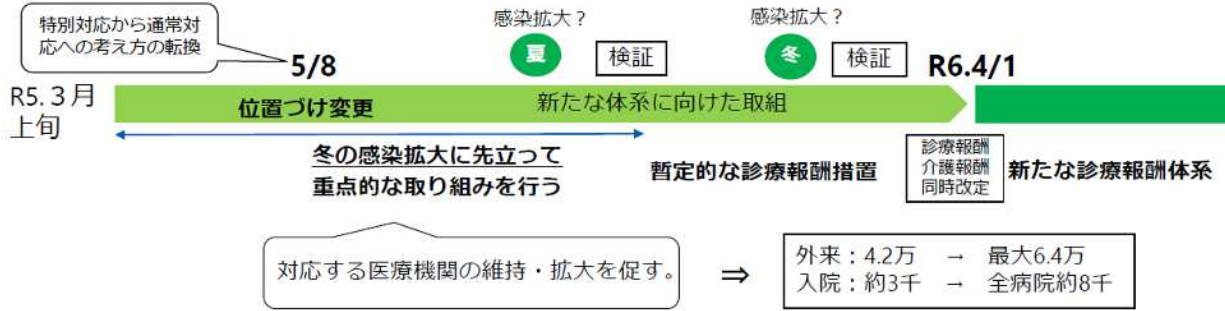
※ 本資料は、「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う医療提供体制及び公費支援の見直し等について」（令和5年3月10日新型コロナウイルス感染症対策本部決定）について、補足資料も加えつつポイントをまとめたものである。

## ○新型コロナウイルス感染症は、5月8日から5類感染症に



### 医療提供体制

幅広い医療機関で新型コロナウイルス感染症の患者が受診できる医療体制に向けて、必要となる感染対策や準備を講じつつ国民の安心を確保しながら段階的に移行



### 入院・外来の医療費

急激な負担増が生じないように、入院・外来の医療費の自己負担分に係る一定の公費支援について、期限を区切って継続

2023.3.10 厚生労働省事務連絡「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う医療提供体制及び公費支援の見直し等について」別紙2より

## 5類移行に係る主な施策の内容②

事項	施策の内容		
	5類移行前（4月1日～5月7日）	5類移行後（5月8日～6月30日）	
検査・診療体制	有症状者・濃厚接触者に対する検査キット配布	終了（自ら購入し、備蓄等の行動を呼びかけ）	
	検査キット備蓄	規模を精査し、緊急配布できる体制を継続	
医療提供体制	公費負担(入院)	国の方針に合わせて対応（高額療養費の自己負担限度額から2万円減額）（全国一律の方針に基づき実施していく事業）	
	病床確保(病床確保料)	国の方針に合わせて対応（補助単価を見直し、継続）（全国一律の方針に基づき実施していく事業）	
	体制整備・受入促進 (患者受入謝金、転院促進、特勤手当、宿泊先確保支援等)	より多くの医療機関で患者を受け入れる体制づくりのため、内容を見直した上で継続（病院における介護人材の確保や院内の感染防止対策経費を支援、ゾーニングなど設備整備の支援を確保病床をもつ病院以外にも拡大、移行計画を4月中に策定、受入医療機関等以外で受入れ経験がある医療機関に軽症・中等症患者の受入れを促進、受入医療機関等は重症者等の受入れに重点化）	
		患者受入謝金等（転院促進、要介護高齢者・障害者の受入促進）	継続（感染拡大時の緊急対応）
		医療従事者に対する特殊勤務手当の支給、宿泊先確保を支援	終了
	入院調整	継続（主に透析、妊婦、小児、精神の方及び重症患者等を対象（具体的な対象は別途通知）。病病・病診連携への移行促進、まずは軽症・中等症患者、秋以降は重症者等の患者）	
	高齢者等医療支援型施設	高齢者等のハイリスク者を守るため、継続	
酸素・医療提供ST	救急のひっ迫状況を見ながら継続		

※ 7月以降は、国の方針や感染状況、医療提供体制の状況も踏まえ、改めて検討

## 5 類移行に係る主な施策の内容④

事項	施策の内容		
	5 類移行前（4 月 1 日～5 月 7 日）	5 類移行後（5 月 8 日～6 月 3 0 日）	
自宅療養体制	配食	<ul style="list-style-type: none"> <li>在庫約37万食を確保（1/31時点）、配送能力最大2.1万件/日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>終了</li> </ul>
	パルスオキシメーター貸与	<ul style="list-style-type: none"> <li>約43万台を確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>終了</li> </ul>
	往診体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師会、広域的に実施する医療機関、施設向け医療支援チームを継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者等のハイリスク者を守るため、高齢者施設への往診チーム派遣を継続（自宅療養者には、相談窓口で往診可能な医療機関につなぐ仕組みを検討）</li> </ul>
	施設専用窓口 即応支援チーム 感染対策支援チーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハイリスク施設対策（感染症に強い都市（レガシー）構築のため）として、継続</li> </ul>	
	患者移送体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間救急や陰圧車を活用した移送体制を確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>透析患者等の移送は継続</li> </ul>
ワクチン接種・治療薬	ワクチン公費負担	<ul style="list-style-type: none"> <li>全額公費負担（国10/10）（特例臨時接種の延長に伴い継続） （全国一律の方針に基づき実施していく事業）</li> </ul>	
	ワクチン接種促進支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別接種を行う診療所を支援（区市町村事業への移行に伴い終了） （全国一律の方針に基づき実施していく事業）</li> </ul>	
	ワクチン大規模接種会場	<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模接種会場（北辰望室、三楽病院）、ワクチンバスを運営 ※有楽町駅・立川南は3月末で終了 （国費の支援における上限単価の新設を踏まえ、体制を精査して継続） （全国一律の方針に基づき実施していく事業）</li> </ul>	

※7月以降は、国の方針や感染状況、医療提供体制の状況も踏まえ、改めて検討

2023.3.16 第115回 東京都新型コロナウイルス感染症モニタリング会議資料

### 新型コロナウイルスに感染した透析患者（コロナ陽性透析患者）の今後の医療提供体制に向けて

- 重症度に応じた透析医療の提供
- 災害時透析医療ネットワークを活用し、地域の医療連携による入院医療の提供・入院調整（搬送が必要な方の手段の確保を含む）



上記医療提供体制へのスムーズな移行のために、当面の間、都は透析患者の入院調整・搬送を実施予定（一部）

- 新型コロナウイルス感染症への対応経験を、災害対策にも活かしていく

